

会 議 録

会 議 の 名 称	第 5 回 和光市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和 4 年 7 月 28 日 (木) 15 時 00 分～
開 催 場 所	和光市役所 5 階 502 会議室
出 席 者	<p>【事務局】 福島課長、広瀬主査、安藤主任</p> <p>【1号委員】 一ノ瀬 大輔 (立教大学 経済学部 経済政策学科 准教授) 野平 佳紀 (埼玉県西部環境管理事務所 担当部長) 芳野 雅廣 (埼玉県地球温暖化対策西部地域協議会 連絡会 副会長)</p> <p>【2号委員】 志村 浩明 (朝霞地区四市廃棄物処理協会 会長) 阿部 なつみ (和光市美化推進委員) 萩原 三枝子 (和光市くらしの会) 富澤 勝 (和光市自治会連合会事務局長)</p> <p>【3号委員】 小林 貴博 (市民公募)</p>
欠 席 者	<p>【2号委員】 西山 博敏 (和光市商工会)</p> <p>【3号委員】 東海林 朝子 (市民公募)</p>

<p>会 議 内 容</p>	<p>(1) 前回審議会の審議結果等を踏まえた修正結果について (2) 計画の進行管理について (3) 計画の体系と施策について (4) その他</p>	
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料1 アンケート調査の結果報告 資料2 第6次計画の数値目標の修正報告 資料3 計画の進行管理について 資料4 市民・事業者・市の役割 資料5 計画の体系と施策について</p>	
<p>会 議 録 の 作 成 の 方 針</p>	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：会長決裁	
<p>そ の 他 の 必 要 事 項</p>	傍聴人 0名	
<p style="text-align: center;">審 議 内 容 （ 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 ）</p>		
<p>【開会】 （事務局挨拶：福島課長）</p> <p>【連絡事項】 （事務局説明：福島） 資料5のP.9施策2.3リサイクル活動（集団回収）の推進の主な取組内容について「子ども会」を「管理組合」に修正。</p> <p>【本議会の運営について】 （事務局説明：福島） 芳野委員が会議開始時間より遅れる。条例第6条で、委員の過半数以上が出席できなければ会議を開くことができないが、本日は7名の委員が出席しており、会議は成立している。</p> <p>【傍聴希望者の入室】 0名</p>		

【議題（１）】

議題（１） 前回審議会の審議結果等を踏まえた修正結果について

（事務局説明：安藤）

（富澤委員）

資料１問２の合計はどうみたらいいのか。

（事務局）

複数回答の設問であったため、合計は回答者数となっています。

（富澤委員）

問１０はどうか。

（事務局）

回答者数が２件に対して、無回答が１件でした。

【議題（２）、（３）】

議題（２） 計画の進行管理について

議題（３） 計画の体系と施策について

（事務局説明：広瀬、安藤）

（小林委員）

資料４について、リフューズというのは「拒否する」という意味の認識だが、「発生回避」だと３Ｒと４Ｒの区別がつきにくい。リフューズの日本語表現がマイルドな感じがして具体的に何を言いたいかわかりにくいという印象がある。

（事務局）

他自治体例等を調べたところ、「発生回避」という記載が多かったため、同様にした。

（小林委員）

「回避」では、NOではなく、迂回するような印象がある。英語の表現としては強めのNOであり京都議定書でもリフューズは強い意味で使っていた。行政の計画だからマイルドな表現になったのかもしれないが、個人的には弱いように感じている。

（事務局）

再度検討します。

（阿部委員）

資料５P. 14 施策３. 1のごみ処理広域化の情報発信について、朝霞市と連携してごみ処理施設を整備していることを自分自身も以前は知らなかったもので、駅前のデジ

タルサイネージ等、南口にしかないのでは北口でも情報発信の場を設けたらいいのではないかと。そういった計画はあるのか。

(事務局)

北口は道幅が小さく開示するのは難しいと思う。ごみの分別基準の見直し等を大きく周知する機会があるので、同時に情報発信できれば良いと考えている。デジタルサイネージはひとつの例として記載しており、資源循環組合でも広報等を利用して広く周知することを考えており、両市の広報担当と調整している。

(小林委員)

資料4P.7の基本方針2の市民の役割として、リサイクル資源循環の意識、分別の徹底を重要視し、わかりやすい情報提供、環境学習の推進とある。しかし、分別の取組みに加え、ごみを出さないライフスタイルの醸成や市民団体の活動が重要視されていくと思う。市民活動団体を応援していく活動、連携していくような考えはあるか。

(事務局)

燃やすごみに多量の資源ごみが混入している和光市の現状を考えると、分別を推進することが、最も効果的であると本計画では考えている。分別が徹底されて燃やすごみから分別できる資源ごみがなくなった次の段階で、市民団体との連携に移ると考えています。

(小林委員)

ごみの分別は、市民の自主性に委ねる点が多いことから、ごみをあまり出さない資源循環型社会は楽しくて豊かな方向性であるという価値観にシフトさせる必要がある。他の部署と連携していきながら「資源循環型社会」として一人一人が豊かなイメージを形成して発信していくことが求められる。消費生活であれば、買い物をするという入り口部分から見直す、食生活については地産地消、フードドライブ等は環境課単体ではなく他の部署との連携をした施策、中長期的な施策を頭のすみに入れておいていただきたい。

(事務局)

拝承。

(一ノ瀬会長)

資料5P.1 施策1.5プラットフォームの後に（情報、拠点）と書かれているが、どういったイメージで2つの単語が書かれているのか。

(事務局)

市民の方が利用できる拠点となるようなイメージです。

(一ノ瀬会長)

物理的な場所ということであれば「拠点」のみの記載が良いのではないかと。ま

た、施策1.4で「ごみを断つための取組」と「ごみを発生させない取組」のこの2つの言葉が、区別がしにくいので、先ほど小林委員からご指摘のあった「拒否」というニュアンスも含めて、文言を検討いただけたらと思う。

(事務局)

拝承。

(小林委員)

資料5P.3 フードドライブは市民にとってどれくらい浸透している言葉なのか。計画書の最後に用語集をつけたり、注釈をつけた方が良いのではないかと。

(野平委員)

日本語だと「ドライブ」はわかりにくいかもしれない。英語では「drive」を寄付活動といった意味で使用しているようなので、説明があったほうが良いと思う。

(事務局)

拝承。

(小林委員)

資料5P.5 施策1.6 資源物の分別徹底について、プラスチックは容器包装リサイクル法でリサイクルの仕組みが作られているが、本当にリサイクルされているのか疑問に思うため細かいプラスチック類を出すときは自分自身も分別できていない。塩ビなどのまとまった単一製品についてはリサイクルできるが、家庭から出る成分が均一でないプラスチックをリサイクルするには課題が多くある。いろいろな成分が入っているプラスチックは、リサイクルできないため、そのまま埋立てられていると聞いている。プラスチックを分別しても、結局は埋め立てるか燃やされているのではないかと。具体的なリサイクルの活用方法、サーマルリサイクルなど、情報発信しないと分別は進まないと思う。プラスチックの分別を呼びかける情報発信だけでなく、リサイクルや利用方法等の使い道の情報発信も必要なのではないかと。

(事務局)

プラスチックを材料としてリサイクルするのは難しい技術であり、和光市のプラスチックもほとんどがサーマルリサイクルされている。しかし、分別しなくて良いわけではなく、セメントや製錬メーカー等で重油の代わりに燃やすことでCO₂が削減されるため、ごみ焼却施設と同じ燃やす工程でも環境には意義のある分別となっている。委員のおっしゃるとおり、知らない方も多くいると思うので、なぜ分別を周知させるのか目的の周知にも努めます。

【議題（3）】 その他

（事務局）

審議会の議事録について、作成し次第委員に確認し、会長に承認してもらってからホームページに公表します。

次回審議会については、9月29日14時から602会議室で予定しています。通知は事前にお送りします。次回審議会では、今までご審議いただいたものを素案として提示します。

意見なし

【閉会】